

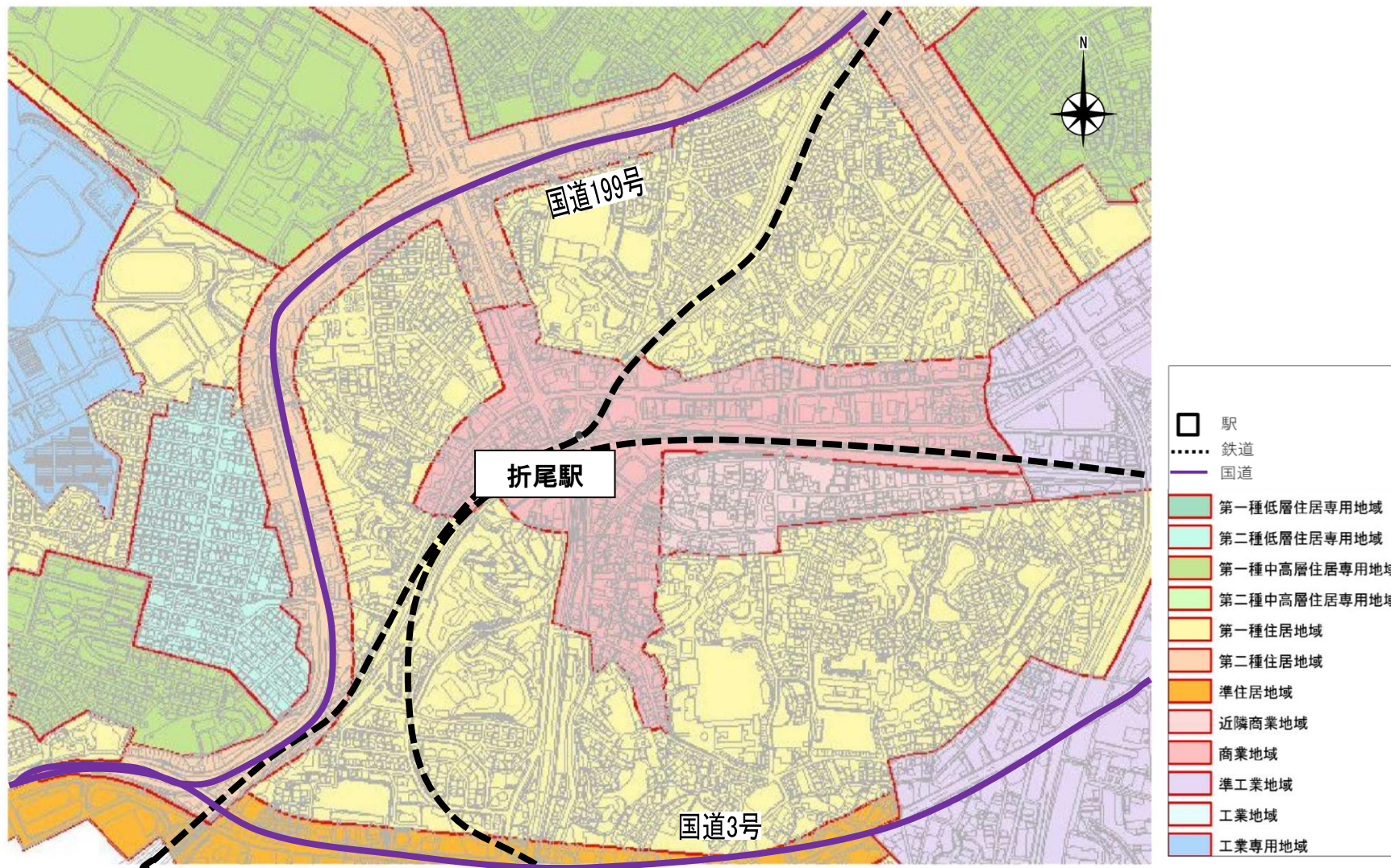
## 事業概要

応募No.	18		
事業主体	福岡県・北九州市	事業箇所	JR筑豊本線・鹿児島本線(折尾駅付近)
応募者名	北九州市 都市整備局 折尾総合整備事務所		
ふりがな 事業名称	じえーあーるちくほうほんせん・かごしまほんせん おりおえきふきん れんぞくりったいこうさじぎょう JR筑豊本線・鹿児島本線(折尾駅付近) 連続立体交差事業		
事業概要 (400字以内)	<p>本事業は、北部九州有数の学園都市である福岡県北九州市のJR筑豊本線・鹿児島本線折尾駅付近において、折尾駅周辺の交通環境の改善や、交通結節機能の向上、住環境の改善を目的として、連続立体交差事業を行ったものである。平成16年度に全線の事業認可を取得、平成18年度に工事着手し、令和3年度に折尾駅周辺の3線すべての高架化が完了し、同年に新折尾駅舎が完成した。</p> <p>整備において、鉄道の市街地分断を解消するため、分断の原因になっていた路線の切替工事を行った。切替工事は、鉄道の運行を止めることのないよう、河川切り替え等を行いながら、順次高架に切り替える手順により実施した。</p> <p>また、折尾駅周辺では踏切による交通渋滞が発生していたため、9カ所の踏切を高架化によって除去した。</p>		
事業規模	事業延長(km)	約4.5km (鹿児島本線 約2.1km、筑豊本線 約2.4km)	
	幅員(m)	-	
	事業期間(和暦)	平成16年～令和6年	
	事業費(億円)	約501億円	
受賞歴	①・無		
URL	<a href="https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/924_00784.html">https://www.city.kitakyushu.lg.jp/contents/924_00784.html</a>		

事業位置図



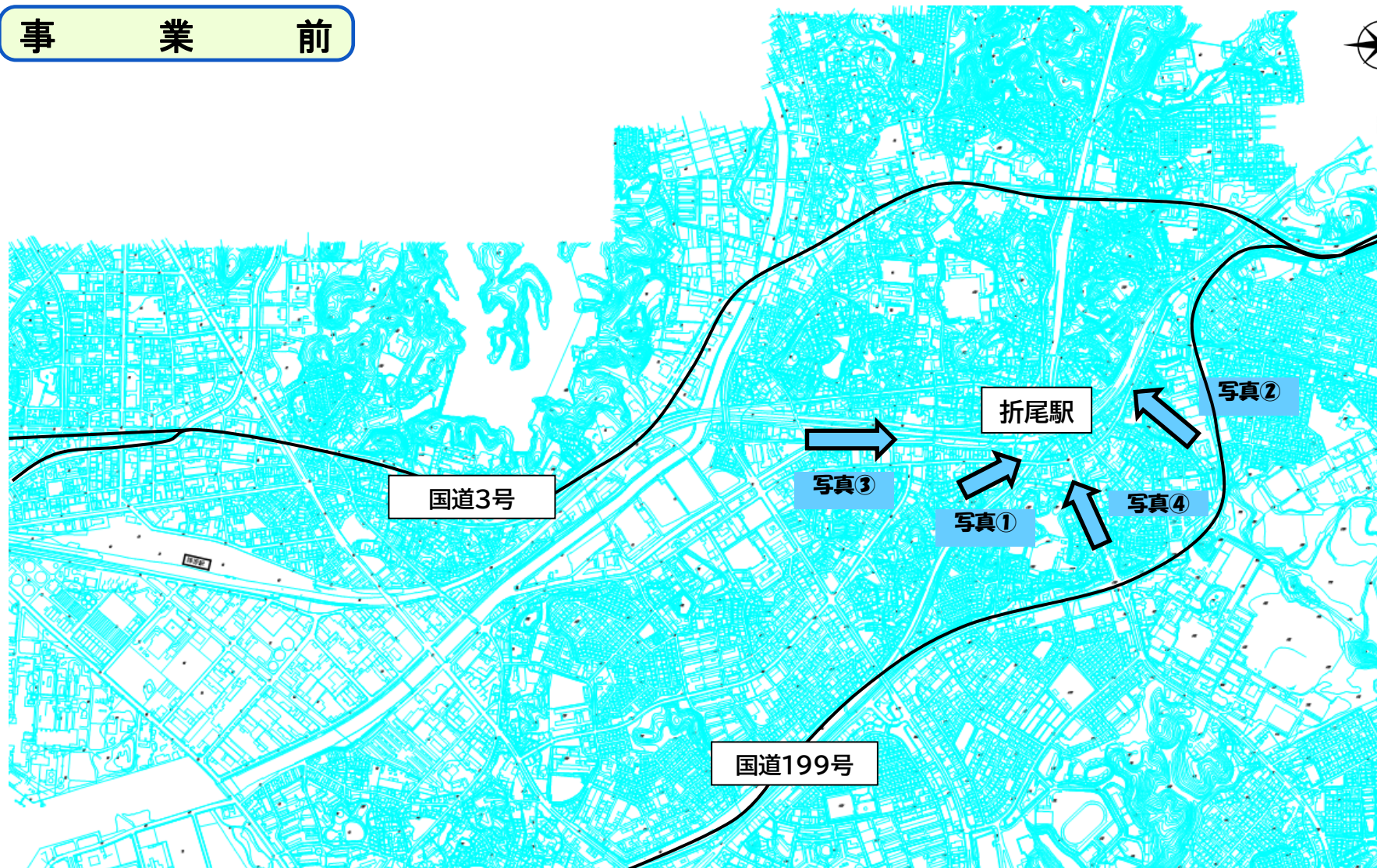
都市計画図(用途地域図)





平面図

事業前



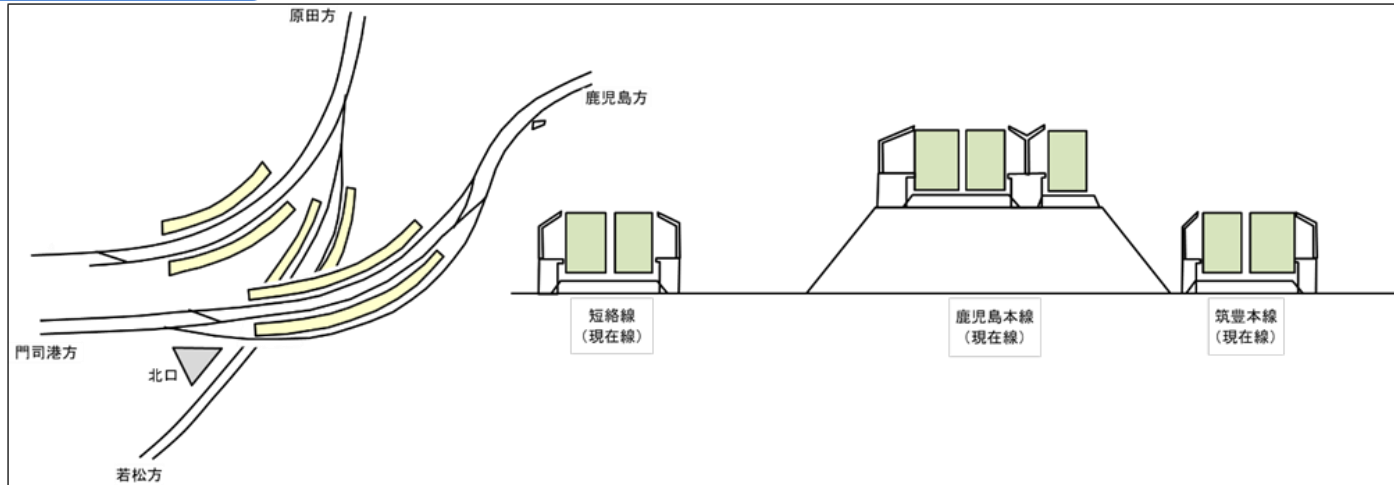
平面図

事業後

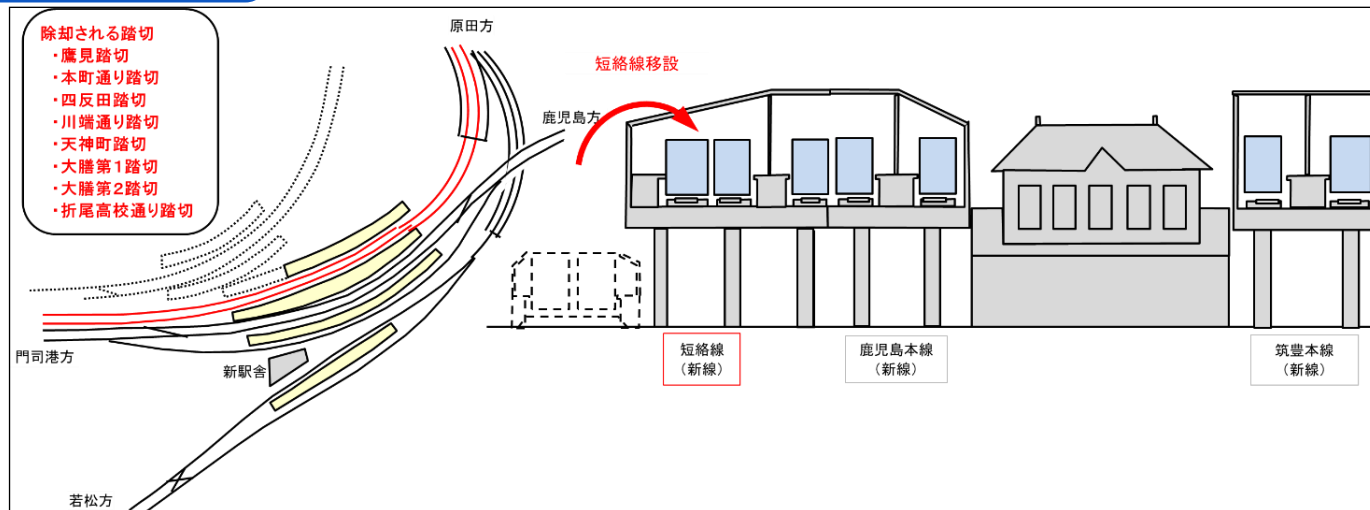


横断図

事業前



事業後



# 事業前写真

# 事業後写真



# 事業前写真



# 事業後写真

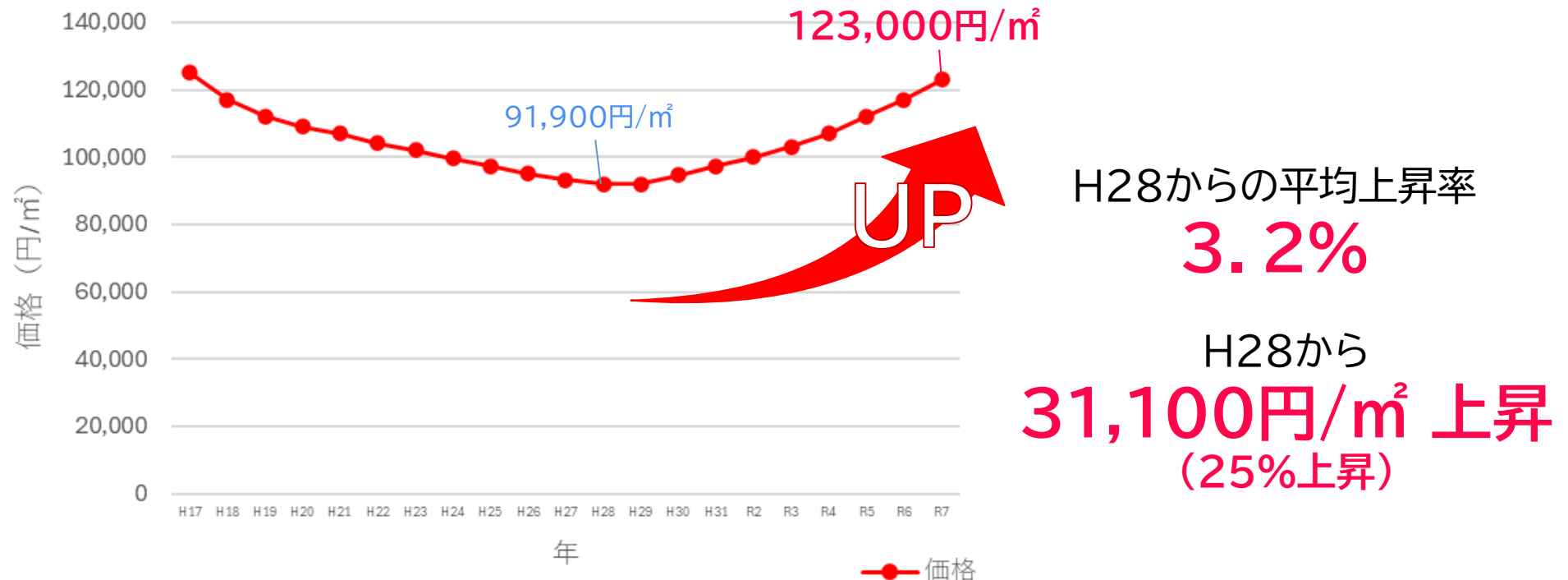
北九州市：折尾駅周辺連続立体



## 公示地価の上昇

折尾地区の公示地価は、H28年には91,900円/m<sup>2</sup>まで減少したが、事業が進むにつれ、現在(R7. 1時点)では、123,000円/m<sup>2</sup>まで上昇。

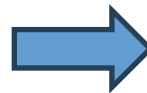
(例)折尾駅から約550mの場所(北九州市八幡西区光明2丁目)



## 踏切除去による交通渋滞の解消

幹線道路上にあった線路が高架化され9箇所の踏切を除去することができた  
これにより、渋滞は解消され人とモノの流れが安全でスムーズになった

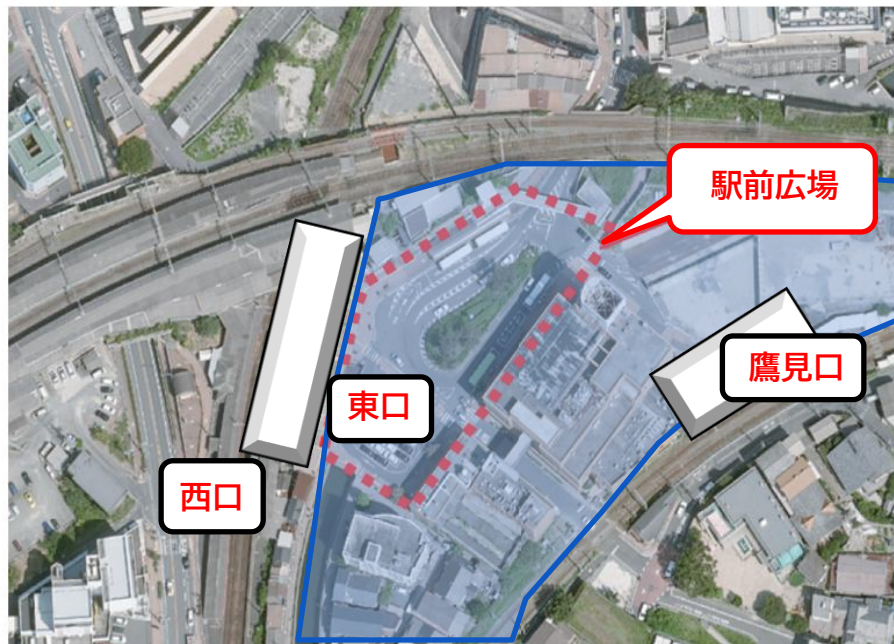
(整備例)折尾駅前 国道199号



最大交通渋滞長 約**400m**が解消

## 駅や駅周辺の整備による交通機能の向上

鉄道により分断されていた地域を解消し、まちの回遊性が向上。  
2箇所に分かれていた駅舎が1箇所に集約され、乗り換えがスムーズに。



孤立していたことでまちの一体性が阻害されていた

↓  
鉄道の位置を変え、高架化することで  
まちの一体性が生まれる



## 新折尾駅舎

本事業を含む折尾地区総合整備事業によるまちづくりを進めるため、地元団体が集まった「おりお未来21協議会」が発足。この団体により北九州市へ提言した「折尾まちづくりビジョン」を踏まえ、大正5年当時の駅舎の外観を可能な限り再現した新駅舎や駅舎内に旧駅舎で使用していたベンチを活用して再現する等、駅舎の保全や活用についての地元の要望を聞きながら新駅舎を完成させた。



△大正5年当時の姿(撮影 昭和9年ごろ)



## 高架下利用

折尾駅を中心に、鹿児島本線では約9,600㎡、筑豊本線では約1,200㎡、合流部分は約6,100㎡を高架下利用している。  
令和元年10月に策定した「市の目指す折尾駅周辺の土地活用イメージ案」に沿った高架下利用がなされている。



- 商業施設:えきマチ1丁目  
(スーパーやカフェ)
- 駐車場
- 折尾まちづくり記念館
- 八幡図書館折尾分館

## 受賞歴・報道資料

■令和4年度 鉄道建築協会作品賞 入選

■令和6年度 第10回北九州都市景観賞 まちなみデザイン賞 受賞